

No. 874

赤い気炎

エイッ、ヤーと掛け声も勇ましく練習に励む女三四郎、「こうやって男の首を押さえ……」と女子空手、このところ男性のスポーツという観念の強かった柔道・空手・合気道に女性の愛好者が増えています。アメリカで流行のウーマン・リブの影響でもないのでしょうが、男性天国日本でも女性の進出は目覚ましく、スポーツの世界ばかりでなく、あらゆる方面で女性旋風を起こしています。

一姫・二虎・三ダンプと恐れられた女性ドライバー、人手不足も手伝ってかトラック、陸送、タクシーに女性ドライバーが大モテです。

一日に約2,500～3,000万通と言われる郵便物、明治4年の発足以来、常に男性だった配達員について女性が登場『赤い気炎』の進出に『男の城』は今大きく揺れようとしています。

更生への道

—交通受刑者—

現代人にとって、クルマは欠かせない便利な乗りもの、それと同時に一步歩いを誤れば、人命を奪う危険性もあわせ持っています。クルマ自体に欠陥がなくとも運転者の一瞬のミスや心がけで、クルマはいつでも『走る凶器』と化してしまいます。

わが国の交通事情は年々悪化する一方で、交通事故の犠牲者はウナギのぼりに増えています。そうした中で加害者のその後は……千葉県の市原刑務所には交通事犯禁固受刑者が平均380人ほど収容されています。

受刑者は可能な限り行動の自由が認められ、集団生活における自己の役割と責任感が育成されています。しかし出所後の支障問題など、まだまだ多くの悩みをかかえています。